

あかぎの響通信

第1号 平成18年7月発行

通所授産施設なかま 富士見村障害者デイサービスセンター

つゆ草クラブ サービスステーションつゆくさ ヘルパーステーションつゆくさ

施設開所から現在に至るまで、1日を通じ利用者さん同士の関わりや職員との関わりも深まりつつ、施設での生活に落ちつきが見られるようになってきました。そこで、あかぎの響の職員の紹介と、各事業所での今年度の目標や方向性、利用者さんの活動の様子等をご報告させていただきたいと思います。

授産施設なかま

【職員の名】

柳井元子、角田登代美、櫛島隼人、山口由美子、小池拓哉、星野敬子、下田健次、額田裕、松本未央、羽鳥孝子、阿久澤均一、下田睦彦



【目標・方向性】

〈なかまより〉利用者も職員も同じ施設で働く「なかま」として毎日を精一杯向き合って一日一日を大切に積み重ねて行きたいと思います。

〈調理より〉利用者の意見、感想を基にした献立作りをし、選択メニュー、行事食事等、新しい事を積極的に取り入れていきたいと思います。旬の食材を使用し、特に夏場の衛生管理の徹底をしていきたいです。

富士見村障害者デイサービスセンター



【職員の名前】金井俊樹、須永恵都

【目標・方向性】

利用者、職員も同じ目線に立ち「なかま」として、一日一日を出来る限り楽しめる活動（買い物訓練、製作活動、運動等の訓練）を取り入れ、生活体験を豊かに、毎日を大切に過ごしていきたいです。

つゆ草クラブ サービスステーションつゆくさ ヘルパーステーションつゆくさ



【職員の名前】

石関 禎子、涌沢紀美恵、佐藤優子、角田由季、峯岸葉子、賛田里美、下田由香里、狩野佐千江、喜多村由希、古屋智史、泉野 勝

【目標・方向性】

〈つゆ草クラブ〉 障がいを持った子供達が放課後、友達と毎日楽しく豊かな体験や遊びを通して心と体の健康と社会のルールを学ぶ場所となるよう、子供達と向かい合っています。

〈サービスステーションつゆくさ〉 24時間、年中無休でご本人、家族の希望に添ったサービスをマンツーマンにて提供しています。

〈ヘルパーステーションつゆくさ〉 障がいを持った方が自分らしく地域で暮らすため、「ケアプラン」を立てて利用計画を作成して、暮らしを支えるサービスを提供しています。

・なかまの活動内容



タルト、クッキー、ラスク、スコーン、パウンドケーキ、マドレーヌ等お菓子を中心とした作業をしています。

給食に使うパン等は自分達で成形したパンを食べています。また、6月から調理パンを作っています。

スイカ、カボチャ、モロヘイヤ、トウモロコシ、人参、枝豆、そら豆、じゃがいも、茄子、キュウリ、ピーマンを育てています。6月には田植えをしました。



月曜日と木曜日にふれあい館や国立赤城青少年交流の家にアルミ缶回収に行きます。その後なかまに戻り、作業棟にてアルミ缶を潰して袋に入れる作業をします。



個々にあった大きさのビーズを通す作業から始め、出来る人は商品化に向け日々ストラップや指輪等を作れるよう頑張っています。

・デイの活動内容

様々な道への対応（あぜ道、砂利道、階段等）を目的として自然に触れることで、季節を実感したり、二人の好きな散歩を毎日取り入れています。また作業中のなかまの利用者との交流（アルミ缶作業、農作業等）にもなる為、これからも積極的に関わっていきたいと思います。





身体の機能保持、体位矯正、関節の拘縮予防、柔軟性の促進等を目的とした体操を毎日欠かさず行っています。その他バランスボードを使ったバランス感覚の向上、カラーボールを使用し、手首が返せるような訓練、製作活動を通して楽しむとともに指の機能を鍛える訓練等を行っています。

・つゆ草の活動内容



「はじまるよ！はじまるよ！」手遊びで子供達は絵本の前に集まってきます。待ってました！と、絵本の前に座る子、なんとなく座らされている子と、いろいろな子供がいて反応は様々ですが“継続は力なり”、一冊でもすてきな絵本と出会えると、絵本の世界が広がります。

「歩く」という動作は人間にとってとても大切なことです。だからでしょうか、つゆ草クラブの子供達は散歩が大好きです。今でも自然豊かな場所なのに、車に乗りさらに自然豊かな山の中へ遊具が無くて土手滑りや木登り、時には昆虫採集等、子供達は自然と遊ぶ天才です。



《お知らせ》

ジャパン カインドネス協会

ジャパン カインドネス協会のゆび募金の協力団体様にはH12年から今日に至るまで、いつも温かなご支援を頂きまして、お陰様で当施設でも自動販売機をベーカーリーなかまに設置する事が出来ました。これも皆様の長年に渡る温かなご支援があったからと心より感謝申し上げます。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★編集後記★★★★★★★★★★★★★★★★

初めて通信づくりを担当させていただき、仕上がるまでに多少戸惑いましたが、みなさんのご協力のおかげであかぎの響通信第1号を発行することが出来ました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。(担当：金井、須永)